

令和5年度鷹巣阿仁地域保健医療福祉協議会専門部会（報告）

部 会 名	献血推進部会		
開 催 日 時	令和6年2月14日（水） 13時00分～14時00分		
会 場	北秋田市交流センター 2階 第一研修室		
出 席 者	8名（欠席者：0名）		
部会長・副部会長	部会長	副部会長	備考欄
	野口博生 氏	工藤智子 氏	
議 題	<p>◆報告事項</p> <p>（1）令和5年度献血事業の実績について</p> <p>（2）街頭献血におけるアンケート調査について</p> <p>◆協議事項「令和6年度献血事業推進計画（案）」</p> <p>鷹巣阿仁福祉環境部管内における令和6年度の計画について協議を行った。</p> <p><委員の意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校献血をもっと推進してほしい。 ・コロナ禍があけたので以前のように団体として街頭献血に協力したい。 ・去年の街頭献血に団体として協力したが、もっと呼びかけや周知があれば集客できたかもしれない。 		

令和5年度鷹巣阿仁地域保健医療福祉協議会献血推進部会

日時：令和6年2月14日（水）
午後1時00分から2時00分まで
場所：北秋田市交流センター
2階 第一研修室

次 第

- 1 挨拶 秋田県北秋田地域振興局鷹巣阿仁福祉環境部長
秋田県赤十字血液センター献血推進課長
- 2 報告事項
 - ・令和5年度献血事業の実績について
 - ・街頭献血におけるアンケート調査について
- 3 協議事項
令和6年度献血事業推進計画（案）について
- 4 秋田県赤十字血液センターからの情報提供

令和5年度秋田県鷹巣阿仁地域保健医療福祉協議会献血推進部会

< 委員一覧 >

番号	役職名	役職名	委員指名	備考
1	大館北秋田医師会	監事	野口 博生	部会長
2	秋田県薬剤師会大館北秋田支部	幹事	工藤 智子	
3	北秋田市・上小阿仁村結核予防婦人会連合会	会長	中嶋 洋子	
4	鷹巣ライオンズクラブ	—	三澤 敏行	
5	北秋田市商工会青年部	部長	田崎 覚	
6	秋田県立秋田北鷹高等学校	養護教諭	鷹背 聡子	
7	北秋田市健康福祉部医療健康課	課長	鈴木 雅昭	
8	上小阿仁村住民福祉課	課長	齊藤 幹雄	

令和5年度

献 血 事 業 の 実 績 に つ い て

鷹巢阿仁地域保健医療福祉協議会
献 血 推 進 部 会

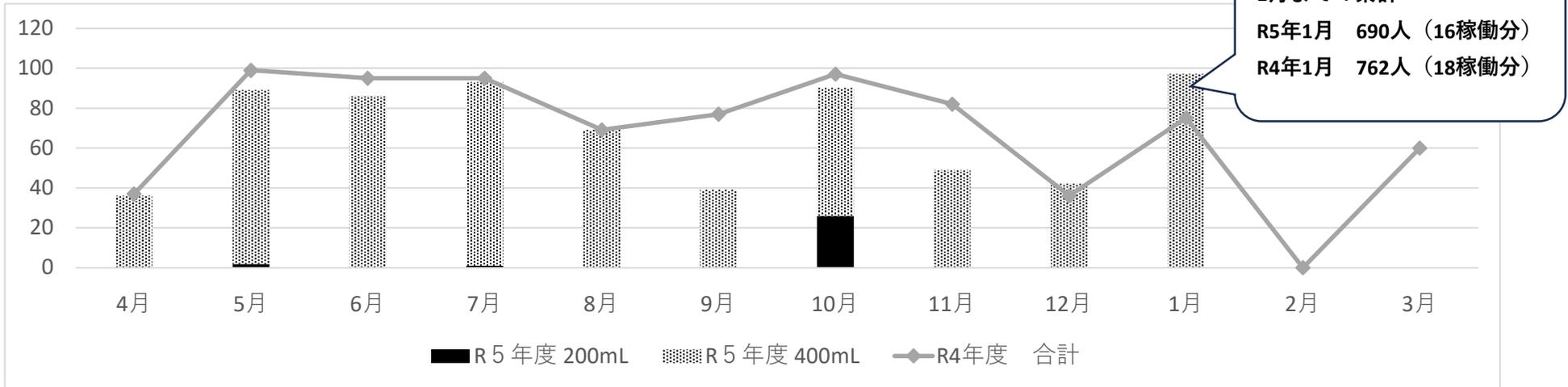
1 令和5年度実施事業一覧

年月日	事業名	備考
令和5年5月14日(日)	街頭献血	いとく鷹巣ショッピングセンター
令和5年7月1日(土) ～令和5年7月31日(月)	令和5年度「愛の献血助け合い運動」	ポスター配布
令和5年7月2日(日)	街頭献血	イオンタウン鷹巣店
令和5年11月 (郵送にて、贈呈)	献血功労者(50回達成)保健所長感謝状贈呈	高橋 正直 石川 正志
令和6年1月1日(月) ～令和6年2月29日(木)	はたちの献血キャンペーン	ポスター配布
令和6年1月3日(水)	街頭献血	イオンタウン鷹巣店
令和6年2月14日(水)	令和5年度鷹巣阿仁地域保健医療福祉協議会 献血推進部会	北秋田市交流センター

2 献血功労賞

年度	表彰区分	市町村	表彰者(団体)
平成11年度	大臣表彰状	森吉町 合川町	秋田県立米内沢高等学校 秋田県公立合川高等学校
	知事表彰状	鷹巣町	秋田県立北技術高等専門学校
	知事感謝状	鷹巣町 阿仁町	1名 阿仁町役場
平成12年度	センター所長感謝状	森吉町	1名
		合川町	2名
		上小阿仁村	1名
平成13年度	知事表彰状	鷹巣町	吉野の郷
	センター所長感謝状	鷹巣町	3名
		森吉町	1名
		合川町	2名
平成14年度	センター所長感謝状	合川町	3名
		上小阿仁村	2名
平成15年度	保健所長感謝状	鷹巣町	1名
		森吉町	2名
平成16年度	保健所長感謝状	鷹巣町	3名
平成17年度	保健所長感謝状	北秋田市	5名
平成18年度	知事感謝状	北秋田市	秋田大塚刷毛製造株式会社秋田工場
	保健所長感謝状	〃	1名
平成19年度	知事感謝状	北秋田市	国土交通省東北地方整備局森吉山ダム工事事務所
	保健所長感謝状	〃	6名
平成20年度	知事感謝状	北秋田市	大館能代空港ターミナルビル株式会社
	保健所長感謝状	〃	1名
平成21年度	知事感謝状	北秋田市	株式会社佐藤庫組
	保健所長感謝状	〃	1名
平成22年度	知事表彰状	北秋田市	北秋田市消防本部
	知事感謝状	〃	社会福祉法人秋田県民生協会愛生園
	保健所長感謝状	〃	1名
平成23年度	保健所長感謝状	北秋田市	3名
平成24年度	保健所長感謝状	北秋田市	3名
平成25年度	保健所長感謝状	北秋田市	2名
平成26年度	保健所長感謝状	北秋田市	1名
平成27年度	大臣感謝状	北秋田市	秋田県立鷹巣技術専門校
	知事表彰状	〃	株式会社 佐藤庫組
	保健所長感謝状	〃	4名
平成28年度	保健所長感謝状	北秋田市	1名
平成29年度	大臣感謝状	北秋田市	株式会社 佐藤庫組
	知事表彰状	〃	大館能代空港ターミナルビル株式会社
	保健所長感謝状	〃	1名
平成30年度	該当なし		
令和元年度		北秋田市	1名
		上小阿仁村	石上 鉄明
令和2年度	保健所長感謝状	北秋田市	3名
令和3年度	保健所長感謝状	北秋田市	2名
令和4年度	保健所長感謝状	北秋田市	3名
令和5年度	知事感謝状	北秋田市	いとく鷹巣ショッピングセンター
	保健所長感謝状	〃	2名

3 令和5年度献血の推移(暫定値)



令和5年度(暫定値)

	年度 目標数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	年度達成率(%)
R5年度 合計	749	36	89	86	93	69	39	90	49	42	97	-	-	690	
R5年度 200mL		0	2	0	1	0	0	26	0	0	0	-	-	29	
R5年度 400mL	749	36	87	86	92	69	39	64	49	42	97	-	-	661	88.3
R5年度稼働数	18	1	2	2	2	2	1	2	1	1	2	1	1		

(単位:人)

令和4年度

	年度 目標数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	年度達成率(%)
R4年度 合計	788	37	99	95	95	69	77	97	82	36	75	0	60	822	
R4年度 200mL		0	0	0	0	0	0	23	0	0	0	0	0	23	
R4年度 400mL	788	37	99	95	95	69	77	74	82	36	75	0	60	799	101.4
R4年度稼働数	19	1	2	2	2	2	2	2	2	1	2	0	1		

(単位:人)

献 血 月 報 (令和5年度4月～1月累計)

(単位：人)

	合 計										成 分 献 血					上段：稼働数 下段：1稼働当の人数		200mL献血 各保健所毎の目標は設定せず、 県全体の目標とする。		
	400mL献血			200mL換算(200mL献血者を含む)			目標数	献血者数	達成率	目標数	献血者数	達成率	血漿	血小板	達成率	全血献血	成分献血	目標数	献血者数	達成率
	目標数	献血者数	達成率	目標数	献血者数	達成率														
	目標数	献血者数	達成率	目標数	献血者数	達成率	400構成比	目標数	献血者数	達成率	目標数	献血者数	達成率	全血献血	成分献血	目標数	献血者数	達成率		
大館保健所 構成比	2,000	2,119	106.0%	2,000	2,119	106.0%	97.1%	4,000	4,302	107.6%	0	0	0	0	-	48.0	0.0	0	64	-
北秋田保健所 構成比	665	661	99.4%	665	661	99.4%	95.8%	1,330	1,351	101.6%	0	0	0	0	-	16.0	0.0	0	29	-
能代保健所 構成比	1,314	1,275	97.0%	1,314	1,275	97.0%	97.9%	2,628	2,578	98.1%	0	0	0	0	-	31.0	0.0	0	28	-
秋田中央保健所 構成比	874	895	102.4%	874	895	102.4%	99.0%	1,748	1,799	102.9%	0	0	0	0	-	21.0	0.0	0	9	-
由利本荘保健所 構成比	1,499	1,655	110.4%	1,499	1,655	110.4%	97.8%	2,998	3,348	111.7%	0	0	0	0	-	38.0	0.0	0	38	-
大仙保健所 構成比	2,037	2,185	107.3%	2,037	2,185	107.3%	99.2%	4,074	4,387	107.7%	0	0	0	0	-	50.0	0.0	0	17	-
横手保健所 構成比	1,703	1,848	108.5%	1,703	1,848	108.5%	98.5%	3,406	3,724	109.3%	0	0	0	0	-	41.0	0.0	0	28	-
湯沢保健所 構成比	1,123	1,094	97.4%	1,123	1,094	97.4%	94.6%	2,246	2,251	100.2%	0	0	0	0	-	27.0	0.0	0	63	-
秋田市保健所 構成比	3,659	3,663	100.1%	3,659	3,663	100.1%	97.3%	7,318	7,428	101.5%	0	0	0	0	-	92.0	0.0	0	102	-
小計 構成比	15,310	15,773	103.0%	14,874	15,395	103.5%	97.6%	29,748	31,168	104.8%	0	0	0	0	-	364.0	0.0	436	378	86.7%
血液センター 構成比	5,951	6,035	101.4%	1,681	1,699	101.1%	98.9%	3,398	3,417	100.6%	4,234	4,317	2,873	1,444	102.0%	217.0	217.0	36	19	52.8%
中通出張所 構成比	8,840	9,165	103.7%	2,884	2,826	98.0%	94.4%	5,867	5,821	99.2%	5,857	6,170	4,156	2,014	105.3%	302.0	302.0	99	169	170.7%
小計 構成比	14,791	15,200	102.8%	4,565	4,525	99.1%	96.0%	9,265	9,238	99.7%	10,091	10,487	7,029	3,458	103.9%	519.0	519.0	135	188	139.3%
合計 構成比	30,101	30,973	102.9%	19,439	19,920	102.5%	97.2%	39,013	40,406	103.6%	10,091	10,487	7,029	3,458	103.9%	883.0	519.0	571	566	99.1%
昨年同期 構成比	31,144	32,135	103.2%	19,608	20,066	102.3%	96.8%	39,315	40,793	103.8%	11,043	11,408	7,643	3,765	103.3%	888.0	520.0	493	661	134.1%
増 減	▲ 1,043	▲ 1,162	-	▲ 169	▲ 146	-	-	▲ 302	▲ 387	-	▲ 952	▲ 921	▲ 614	▲ 307	-	▲ 5	▲ 1	78	▲ 95	-
血液確保量(L) 構成比	13,391.2	11,966.8	89.4%	7,775.6	7,968.0	102.5%	-	7,889.8	8,081.2	102.4%	5,501.4	3,885.6	3,058.7	826.9	70.6%	-	-	114.2	113.2	99.1%
昨年度同期(L) 構成比	13,969.5	12,290.0	88.0%	7,843.2	8,026.4	102.3%	-	7,941.8	8,158.6	102.7%	6,027.7	4,131.4	3,258.4	873.0	68.5%	-	-	98.6	132.2	134.1%
増 減 (L)	▲ 578.3	▲ 323.2	-	▲ 67.6	▲ 58.4	-	-	▲ 52.0	▲ 77.4	-	▲ 526.3	▲ 245.8	▲ 199.7	▲ 46.2	-	-	-	15.6	▲ 19.0	-

献 血 月 報 (令和4年度 4月～3月累計)

(参考) 令和4年度実績

(単位:人)

	合 計										成 分 献 血				上段:稼働数		200mL献血 各保健所毎の目標は設定せず、 県全体の目標とする。			
	400mL献血			200mL換算(200mL献血者を含む)			400構成比	目標数	献血者数	達成率	目標数	献血者数	達成率	全血献血	成分献血	目標数	献血者数	達成率		
	目標数	献血者数	達成率	目標数	献血者数	達成率													血漿	血小板
	目標数	献血者数	達成率	目標数	献血者数	達成率	目標数	献血者数	達成率	全血献血	成分献血	目標数	献血者数	達成率						
大館保健所 構成比	2,448	2,441	99.7%	2,448	2,441	99.7%	96.2%	4,896	4,978	101.7%	0	0	0	0	-	59.0	0.0	0	96	-
北秋田保健所 構成比	788	799	101.4%	788	799	101.4%	97.2%	1,576	1,621	102.9%	0	0	0	0	-	19.0	0.0	0	23	-
能代保健所 構成比	1,577	1,588	100.7%	1,577	1,588	100.7%	98.1%	3,154	3,207	101.7%	0	0	0	0	-	38.0	0.0	0	31	-
秋田中央保健所 構成比	1,079	1,101	102.0%	1,079	1,101	102.0%	99.1%	2,158	2,212	102.5%	0	0	0	0	-	26.0	0.0	0	10	-
由利本荘保健所 構成比	1,867	1,832	98.1%	1,867	1,832	98.1%	97.2%	3,734	3,717	99.5%	0	0	0	0	-	46.0	0.0	0	53	-
大仙保健所 構成比	2,490	2,553	102.5%	2,490	2,553	102.5%	98.8%	4,980	5,137	103.2%	0	0	0	0	-	60.0	0.0	0	31	-
横手保健所 構成比	2,075	2,176	104.9%	2,075	2,176	104.9%	96.2%	4,150	4,439	107.0%	0	0	0	0	-	50.0	0.0	0	87	-
湯沢保健所 構成比	1,411	1,456	103.2%	1,411	1,456	103.2%	95.5%	2,822	2,980	105.6%	0	0	0	0	-	35.0	0.0	0	68	-
秋田市保健所 構成比	4,565	4,307	94.3%	4,565	4,307	94.3%	97.3%	9,130	8,735	95.7%	0	0	0	0	-	107.0	0.0	0	121	-
小計 構成比	18,769	18,773	100.0%	18,300	18,253	99.7%	97.2%	36,600	37,026	101.2%	0	0	0	0	-	440.0	0.0	469	520	110.9%
血液センター 構成比	7,432	7,773	104.6%	1,889	2,157	114.2%	98.7%	3,797	4,342	114.4%	5,524	5,588	3,709	1,879	101.2%	259.0	259.0	19	28	147.4%
中通出張所 構成比	10,956	11,855	108.2%	3,195	3,681	115.2%	94.9%	6,488	7,559	116.5%	7,663	7,977	5,363	2,614	104.1%	361.0	361.0	98	197	201.0%
小計 構成比	18,388	19,628	106.7%	5,084	5,838	114.8%	96.3%	10,285	11,901	115.7%	13,187	13,565	9,072	4,493	102.9%	620.0	620.0	117	225	192.3%
合計 構成比	37,157	38,401	103.3%	23,384	24,091	103.0%	97.0%	46,885	48,927	104.4%	13,187	13,565	9,072	4,493	102.9%	1,060.0	620.0	586	745	127.1%
昨年同期 構成比	37,895	40,140	105.9%	23,420	24,875	106.2%	96.8%	47,505	50,566	106.4%	13,810	14,449	9,776	4,673	104.6%	1067.0	623.0	665	816	122.7%
増減	▲ 738	▲ 1,739	-	▲ 36	▲ 784	-	-	▲ 620	▲ 1,639	-	▲ 623	▲ 884	▲ 704	▲ 180	-	▲ 7	▲ 3	▲ 79	▲ 71	-
血液確保量(L) 構成比	16,661.2	14,708.2	88.3%	9,353.6	9,636.4	103.0%	-	9,470.8	9,785.4	103.3%	7,190.4	4,922.8	3,875.4	1,047.5	68.5%	-	-	117.2	149.0	127.1%
昨年度同期(L) 構成比	17,050.0	15,352.0	90.0%	9,368.0	9,950.0	106.2%	-	9,501.0	10,113.2	106.4%	7,549.0	5,238.8	4,134.5	1,104.3	69.4%	-	-	133.0	163.2	122.7%
増減(L)	▲ 388.8	▲ 643.7	-	▲ 14.4	▲ 313.6	-	-	▲ 30.2	▲ 327.8	-	▲ 358.6	▲ 315.9	▲ 259.1	▲ 56.9	-	-	-	▲ 15.8	▲ 14.2	-

4 街頭献血・大規模事業所献血

1 街頭献血

(1) 目的: 保健所、市村及び日赤は地域の各種イベント又はショッピングセンター等で、地域住民に献血思想の啓発普及を図るとともに献血を実施する。

(2) 実績

会 場	受付人数	全血	献 血		不適	協力団体、ボランティア
			200mL	400mL		
令和5年5月14日(日) いとく鷹巣ショッピングセンター	62	59	2	57	3	
令和5年7月2日(日) イオンタウン鷹巣店	50	47	1	46	3	北秋田市商工会青年部
令和6年1月3日(水) イオンタウン鷹巣店	60	56	0	56	4	

2 大規模事業所献血

実績

会 場	受付人数	全血	献 血		不適	協力団体、ボランティア
			200mL	400mL		
令和5年6月2日(金) 朝日建設(株) 本社	55	51	0	51	4	
令和5年10月20日(金) 秋田県民生協会(本部) 10:00~14:30	24	22	0	22	2	
令和5年10月20日(金) (株)佐藤庫組 15:00~16:30	26	24	0	24	2	

5 献血協力事業所(令和5年度)

市村	事業所数	備考
北秋田市	57カ所	
上小阿仁村	2カ所	

◆北秋田市鷹巣地区(35カ所)

北秋田市役所
 北秋田市消防本部
 北秋田市民病院
 大館能代空港ターミナルビル
 北秋田市商工会
 いとく鷹巣ショッピングセンター
 イオンタウン鷹巣
 いとく鷹巣南店
 秋田銀行鷹巣支店
 北都銀行鷹巣支店
 秋田県信用組合鷹巣支店
 北秋田警察署
 新東北メタル(株)
 朝日建設(株)
 北秋田地域振興局
 (株)テーエムシー
 (株)クラウン精密秋田工場
 保健事業団 県北検診センター
 大館北秋田森林組合本所
 県立鷹巣技術専門校
 県立秋田北鷹高等学校
 北秋田市社会福祉協議会
 ケアタウンたかのす
 青山荘
 中央シリカ(株)鷹巣工場
 JA秋田たかのす本店
 JA秋田たかのす配送センター
 鷹巣年金事務所
 秋田トヨタ鷹巣店
 秋田トヨペット鷹巣店
 つむぎの彩
 ハローワーク鷹巣
 北秋田市民ふれあいプラザ(コムコム)
 吉野の郷
 全農物流(株)北秋田営業所

◆北秋田市合川地区(10カ所)

北秋田市合川総合窓口センター
 北秋田市消防署西統合分署
 (株)佐藤庫組
 Aコープあいかわ
 秋田県民生協会
 秋田県信用組合合川支店
 JA秋田たかのす合川支店
 日立金属ネオマテリアル北日本工場
 北欧の杜
 JA秋田たかのす資材センター

◆北秋田市森吉地区(9カ所)

北秋田市総合窓口センター
 もりよし荘
 マルテ刷毛ローラー製造(株)秋田工場
 市立米内沢診療所
 森泉荘
 秋田土建(株)
 中央シリカ(株)
 (株)しらかみファーマーズ
 秋田県信用組合森吉支店

◆北秋田市阿仁地区(3カ所)

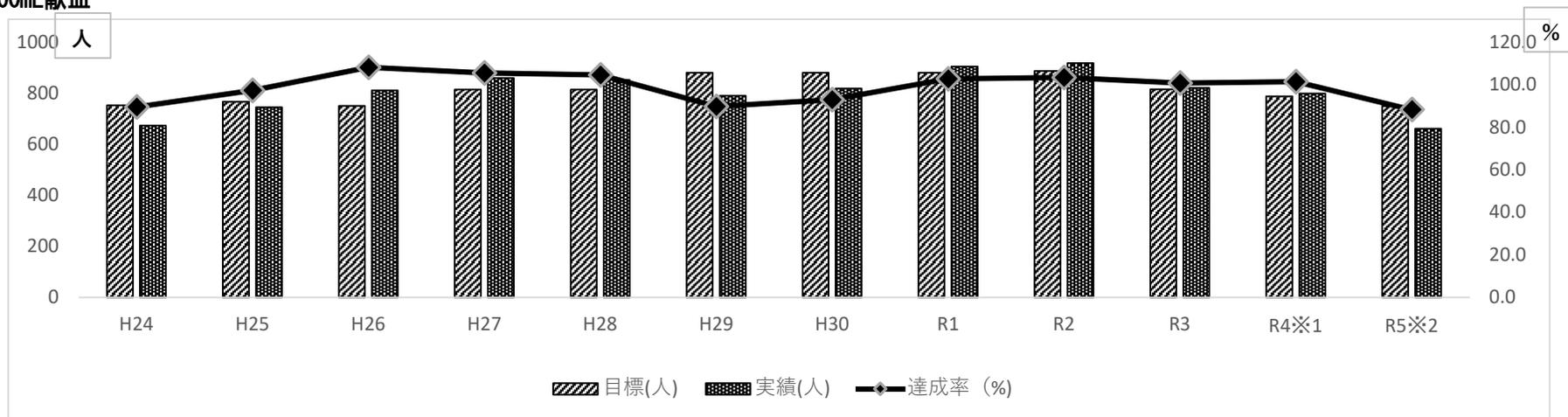
北秋田市阿仁支所
 もろび苑
 秋田内陸線縦貫鉄道

◆上小阿仁村(2カ所)

上小阿仁開発センター
 上小阿仁村若者センター

6 献血実施状況の推移（北秋田保健所管内）

(1) 400mL献血



年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4※1	R5※2
目標(人)	752	766	750	814	814	880	880	880	887	815	788	749
実績(人)	673	745	811	859	851	790	818	904	917	821	799	661
達成率 (%)	89.5	97.3	108.1	105.5	104.5	89.8	93.0	102.7	103.4	100.7	101.4	88.3

※令和5年度の目標値は年度値。実績、達成率及び構成比は1月末までの数値。

(2) 高校献血（秋田県立北鷹高等学校）

年度	R1	R2	R3	R4	R5
月日	10月10日	10月8日	10月27日	10月25日	10月24日
200mL献血(人)	16	13	8	23	25
400mL献血(人)	10	11	12	18	8
計	26	24	20	41	33
備考欄			職員4名	職員3名	職員1名

街頭献血における アンケート調査について

令和 5 年度鷹巣阿仁地域保健医療福祉協議会
献血推進部会

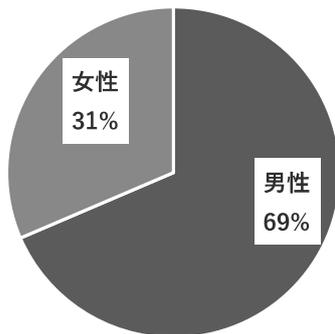
1

調査方法

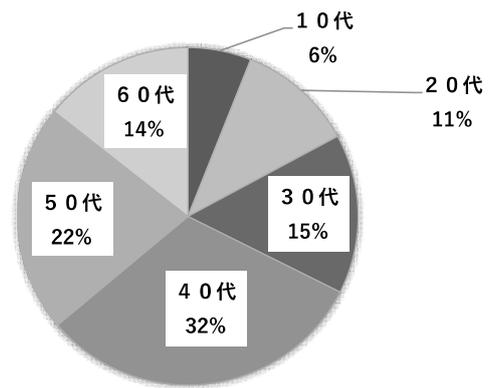
- 調査対象
街頭献血、大規模献血に来た献血協力者：227人
- 場所
 - ①令和5年5月14日 いとく鷹巣ショッピングセンター
 - ②令和5年6月2日 朝日建設 本社
 - ③令和5年7月2日 イオンタウン鷹巣
 - ④令和6年1月3日 イオンタウン鷹巣
- 回収：216人（回収率：95.2%）

2

1 あなたの性別と年代は？



性別	男性	女性
献血協力者（人）	148	68

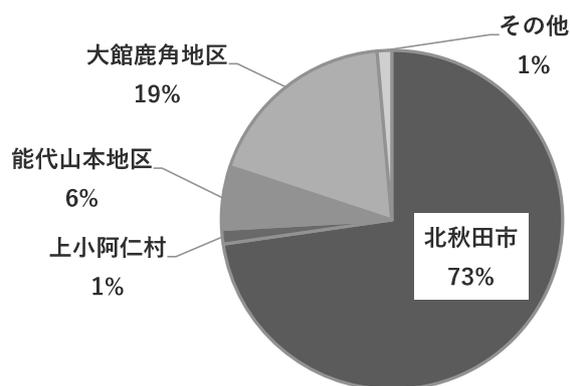


年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代
献血協力者（人）	13	24	33	68	47	31

- 献血協力者の多くは男性である。
- 献血協力者は、40代、50代が多く、10代、20代が少ない状態である。

3

2 あなたの居住地区は？

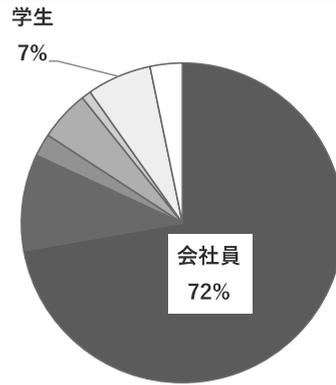


居住地区	北秋田市	上小阿仁村	能代山本地区	大館鹿角地区	その他
献血協力者（人）	157	3	13	40	3

- 献血協力者の多くは北秋田市に居住されている方であった。
- その他は、秋田市、湯沢市、宮城県であった。

4

3 あなたの職業は？



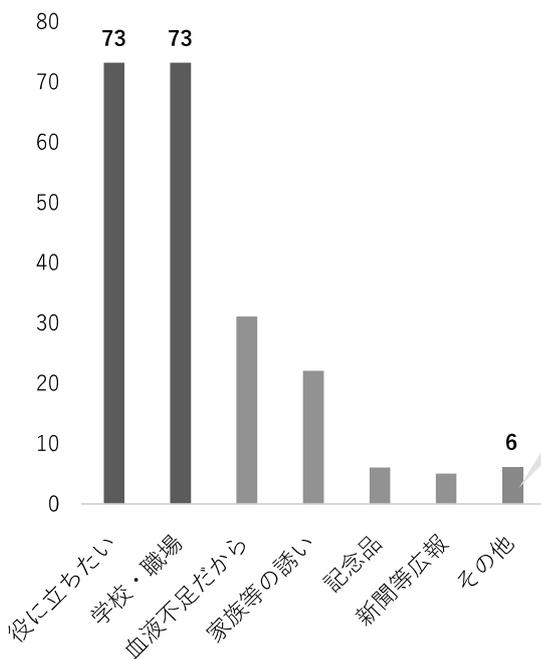
■会社員 ■パート ■自営業 ■公務員 ■主婦 □学生 □無職

職業	会社員	パート	自営業	公務員	主婦	学生	無職
献血協力者（人）	156	21	5	11	2	14	7

- ・ 献血協力者の多く会社員であった。
- ・ 学生は全体の7%であった。

5

4 初めて献血をしたときのきっかけは？ (複数回答)

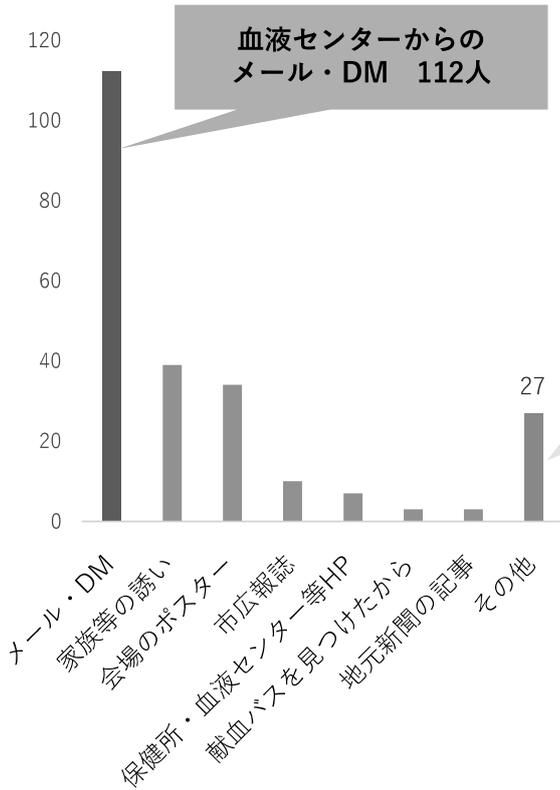


【その他】

- ・ 家族が輸血を必要としたため
- ・ 妊娠していた妻から、献血のお願いがあったため
- ・ 祖母の手術がきっかけでした
- ・ 何となくやってみようと思った
- ・ 社会貢献
- ・ 町で声をかけられた

6

5 本日の街頭献血に来たきっかけは？ (複数回答)

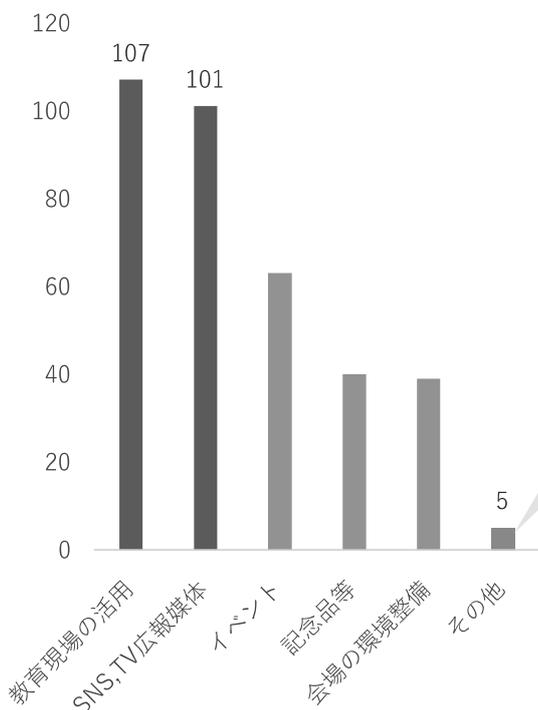


【その他】

- ・ 駅でポスターを見つけた
- ・ ラジオの献血バス案内
- ・ 毎年この日にやってる
- ・ 商工会青年部の活動として
- ・ 取引先である朝日建設から協力依頼があったから

7

6 「若い人に献血に興味を持ってもらうために必要なこと」は何だと思いますか？ (複数回答)



【その他】

- ・ 人が助かる姿を見せる形で
- ・ 献血バスを増やす
- ・ 献血をするメリットを伝える

8

7 献血に関する御意見－1

- こんな種類の薬を飲んでいても献血はできると周知して欲しい
- 午前だとかなりの時間待つことが多い。バスを増やして流れをよくして欲しい
- 景品が年々質素になってる気がします
- コマーシャルを増やすとかしてほしい
- 出来る場所を増やして欲しい
- 短時間で済む工夫をして欲しい
- 移動献血車のネット予約を出来る様にして欲しい
- 献血バスでもアルコールを使わない消毒手段があるとありがたい
- 年2回（正月と職場）で出来る様日程の確認をお願いしたい

9

7 献血に関する御意見－2

- 献血キャラクター「けんけつちゃん」がかわいいと思った
- いつもありがとうございます。これからも宜しくお願いします
- 血液検査して頂けるのでいつもお世話になっております
- 私は自分が成人後すでに20回以上献血していて、自分1人で出来る社会貢献だと思っています。会社にも献血依頼が来て毎回数人が協力しています。献血したことのない若人が継続してくれれば良いと思います。ちなみに私の息子は40才ですが、やはり高校以降何十回もしています。

10

令和6年度
献血事業推進計画

秋田県鷹巣阿仁地域保健医療福祉協議会
献血推進部会

令和6年度北秋田地域献血推進計画

令和6年度の献血により確保すべき目標量と、目標量を確保するために講ずる事項及び献血推進体制の強化を図るため必要な事項を定める。

第1 献血目標

	合計	200mL 献血	400mL 献血
北 秋 田 市	7 3 3人	1 8人	7 1 5人
上小阿仁村	3 9人	0人	3 9人
合 計 (前年度比)	7 7 2人 (+ 5人)	1 8人 (± 0人)	7 5 4人 (+ 5人)

※ 200mL 献血の目標については、秋田県全体で目標値が設定されているが、北秋田地域においては配車台数割で目安を設定している。

第2 献血の推進に関する事項

1 計画的な採血の実施

- (1) 秋田県血液事業推進計画に基づき、北秋田保健所（以下「保健所」という。）は市村と協議し市村別献血目標を策定する。
- (2) 保健所は市村担当者と連携を密にし、献血協力事業所との日程調整に遺漏の無いよう支援する。

2 献血に関する普及啓発

保健所及び市村は地域住民に献血への理解を深めるよう広報に努める。

第3 推進方策等

1 献血の推進

- (1) 献血思想の啓発普及

地域住民に対し、献血への理解及び参加を求めるための広報活動を実施する。

ア 広報活動

- ・ 保健所及び市村は、新興・再興感染症の蔓延下の状況であっても、医療に欠くことのできない有限で貴重なものである血液製剤の安定供給を図るため、新聞・広報紙・ポスター・パンフレット等の広報媒体を活用し、血液製剤の重要性及び献血への理解など、献血思想の普及に努める。

イ 新規献血協力事業所の開拓

- ・ 保健所、市村は、献血に協力する事業所を開拓するため、秋田県赤十字血液センター（以下「日赤血液センター」という。）と連携を図り、管内の献血未実施事業所に訪問し、事業主に対して献血への理解を求める。

ウ 全血献血の在り方と高校献血の推進

- ・ 保健所、市村及び日赤血液センターは、血液製剤の安全性、製造効率、医療機関の需要等の観点から、主として400mL献血の推進を行うものとする。
- ・ 保健所、日赤血液センターは連携して、高等学校に対して献血への理解及び協力を求める。
- ・ 将来の献血基盤の確保という観点から、若年層への献血推進は非常に重要であり、若年層に対し献血への意識付けを推進し、できる限り献血を経験してもらう。

エ 街頭献血の実施（3回）

- ・ 令和6年 5月12日（日）いとく鷹巣ショッピングセンター（北秋田市）
- ・ 令和6年 7月14日（日）イオンタウン鷹巣店（北秋田市）
- ・ 令和7年 1月 3日（金）イオンタウン鷹巣店（北秋田市）

オ 大規模事業所における献血

- ・ 朝日建設株式会社（北秋田市）
- ・ 秋田県民生協会（北秋田市）
- ・ 株式会社佐藤庫組（北秋田市）

カ 学校等献血の実施

- ・ 秋田県立秋田北鷹高等学校（北秋田市）

(2) 献血推進体制について

保健所、市村は、事業所・学校など職域組織や商工会・青年会・婦人会・町内会などの地域組織やライオンズクラブ及び赤十字奉仕団などのボランティア組織に献血運動への支援・協力を要請する。

(3) 献血者への謝意

保健所は、献血回数50回を達成した個人に対し、保健所長感謝状を贈呈し謝意を表す。

令和6年度 北秋田保健所献血予定表 案

北秋田保健所

NO.1

月 日	地 区	実施時間	受付時間	献 血 場 所
4/ 9(火)	鷹巣 合川	10:00~12:00 13:15~14:30 15:00~16:15	10:00~11:30 13:15~14:15 15:00~16:00	新東北メタル(株) 鷹巣技術専門校 北秋田市民病院
5/ 8(水)	上小阿仁 森吉	10:00~12:00 13:30~14:30 15:00~16:15	10:00~11:45 13:30~14:15 15:00~16:00	上小阿仁開発センター マルテー刷毛ローラー製造(株)秋田工場 北秋田市役所森吉総合窓口センター
5/12(日)	鷹巣	10:00~12:00 13:00~16:15	10:00~11:30 13:00~16:00	いとく鷹巣ショッピングセンター いとく鷹巣ショッピングセンター
6/ 7(金)	鷹巣	10:00~12:00 13:00~16:15	10:00~11:30 13:00~16:00	朝日建設(株) 本社 朝日建設(株) 本社
6/ 14(金)	鷹巣 合川	10:00~11:30 13:00~16:15	10:00~11:15 13:00~16:15	(株)テーエムシー (株)佐藤庫組
7/ 11(木)	鷹巣	10:00~12:00 13:00~14:30 15:00~16:15	10:00~11:45 13:00~14:15 13:00~16:01	北秋田市役所 本庁 北秋田市役所 本庁 北秋田市消防本部
7/14(日)	鷹巣	10:00~12:00 13:00~16:15	10:00~11:30 13:00~16:00	イオンタウン鷹巣 イオンタウン鷹巣
8/ 1(木)	鷹巣	10:00~12:00 13:00~14:30 15:00~16:15	10:00~11:45 13:00~14:15 15:00~16:00	北秋田地域振興局 北秋田地域振興局 ケアタウンたかのす
8/21(水)	合川 森吉 阿仁	10:00~11:30 13:00~14:00 14:30~16:15	10:00~11:15 13:00~13:45 14:30~16:00	ファミリーマート合川 特別養護老人ホーム 森泉荘 秋田内陸線 阿仁合駅 (協力:秋田内陸縦貫鉄道(株))

令和6年度 北秋田保健所献血予定表 案

北秋田保健所

NO.2

月 日	地 区	実施時間	受付時間	献 血 場 所
9/ 11(水)	上小阿仁	10:00~11:30	10:00~11:15	上小阿仁開発センター
	森吉	13:00~14:00	13:00~13:45	マルテー刷毛ローラー製造(株)秋田工場
	鷹巣	15:00~16:15	15:00~16:00	秋田県信用組合 鷹巣支店
10/18(金)	合川 鷹巣	10:00~12:00	10:00~11:45	社会福祉法人 秋田県民生協会
		13:00~14:30	13:00~14:15	社会福祉法人 秋田県民生協会
		15:00~16:15	15:00~16:00	(株)テーエムシー
10/22(火)	鷹巣	10:00~13:30	10:00~13:15	県立秋田北鷹高等学校
	合川	15:00~16:15	15:00~16:00	北秋田市民病院
11/21(木)	鷹巣	10:00~12:00	10:00~11:30	新東北メタル(株)
		13:00~16:15	13:00~16:00	北秋田市役所 本庁
12/ 3(火)	鷹巣	9:50~11:45	9:50~11:30	北秋田警察署
		13:00~16:15	13:00~16:00	北秋田地域振興局
1/ 3(金)	鷹巣	10:00~12:00	10:00~11:45	イオンタウン鷹巣
		13:00~16:15	13:00~16:00	イオンタウン鷹巣
1/ 24(金)	上小阿仁	10:00~11:30	10:00~11:15	上小阿仁開発センター
	鷹巣	13:00~14:30	13:00~14:15	北秋田市消防本部
		15:15~16:15	15:15~16:15	大館能代空港ターミナルビル(株)
2/ 27(木)	鷹巣	10:00~12:00	10:00~11:45	JA秋田たかのす配送センター
	合川	13:00~16:15	13:00~16:00	社会福祉法人 秋田県民生協会
3/ 21(金)	鷹巣	10:00~12:00	10:00~11:45	北秋田市役所 本庁
		13:00~16:15	13:00~16:00	北秋田地域振興局

●献血協力場所

北秋田地域振興局	北秋田市民ふれあいプラザ(コムコム)
北秋田市役所 本庁	ザ・ビックたかのす店
北秋田市役所 森吉総合窓口センター	いとく鷹巣ショッピングセンター
北秋田市役所 合川総合窓口センター	いとく鷹巣南店
北秋田市役所 阿仁支所	青山荘
上小阿仁開発センター	(株)テーエムシー
上小阿仁若者センター	もりよし荘
県立鷹巣技術専門学校	吉野の郷
県立秋田北鷹高等学校	ケアタウンたかのす
北秋田市消防本部	もろび苑
北秋田市民病院	森泉荘
北秋田市商工会	市立米内沢診療所
鷹巣年金事務所	JA秋田たかのす 配送センター
大館能代空港ターミナルビル	つむぎの彩
秋田県信用組合鷹巣支店	新東北メタル(株)
(株)佐藤庫組	マルテー刷毛ローラー製造(株)秋田工場
朝日建設株式会社 本社	(株)クラウン精密 秋田工場
秋田土建 (株)	保健事業団 県北検診センター
(社)秋田県民生協会	大館北秋田森林組合 本所
北秋田警察署	全農物流(株)秋田支店営業部 北秋田営業所
秋田内陸線縦貫鉄道(株)	Aコープあいかわ
(株)日立金属ネオマテリアル 北日本工場	しらかみファーマーズ
北欧の杜(ノスタルジックカーフェスタ)	JA秋田たかのす資材センター
北秋田市消防署西統合分署	
	(社)北秋田市社会福祉協議会 (協力)
	中央シリカ(株) (協力)
	中央シリカ(株)鷹巣工場 (協力)
	JA秋田たかのす 本店(協力)
	JA秋田たかのす 資材センター(協力)
	JA秋田たかのす 合川支店(協力)
	秋田銀行鷹巣支店(協力)
	北都銀行鷹巣支店(協力)
	秋田県信用組合合川支店(協力)
	秋田県信用組合森吉支店(協力)
	秋田トヨタ鷹巣店(協力)
	秋田トヨペット鷹巣店(協力)
	ハローワーク鷹巣(協力)

令和6年度秋田県血液事業推進計画（案）

本計画は、安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律（昭和31年法律第160号）第10条第5項の規定に基づき令和6年度秋田県献血推進計画として定めるとともに、血液製剤の安全性の確保及び適正使用の推進のために必要な事項を定めるものである。

I 献血推進計画

第1 令和6年度に献血により確保すべき血液の目標量

令和6年度に必要と見込まれる輸血用血液製剤は、赤血球製剤50,968単位（昨年度比908単位増）、血小板製剤70,910単位（昨年度比8,480単位減）、血漿製剤12,280単位（昨年度比700単位減）である。そこに国から本県に割り当てられる原料血漿確保目標量9,999L（昨年度比844L減）を勘案すると、15,819L（昨年度比2,152L減）の血液を献血により確保する必要がある。

献血目標の内訳

区分	全血献血		成分献血		合計	献血量 (L)	献血率
	200mL	400mL	血漿	血小板			
献血者数(人)	561	23,305	7,070	4,331	35,267	15,819	3.7%
構成比	1.6%	66.1%	20.0%	12.3%	100.0%	—	—

※献血率＝献血者数／人口（R02 国勢調査結果）

第2 献血の推進に関する基本的な考え方

1 計画的な献血の実施

- ・ 本計画に基づき、保健所は市町村と協議し市町村別献血目標を決定する。
- ・ 保健所、日本赤十字社秋田県支部（以下「日赤県支部」という。）及び秋田県赤十字血液センター（以下「日赤血液センター」という。）は、市町村担当者と連携を密にし、献血協力事業所との日程調整に遺漏のないよう支援する。

2 献血に関する普及啓発

県、市町村、日赤県支部及び日赤血液センターは、県民に献血や血液製剤に関する理解を深めるよう広報に努める。

第3 具体的な方策

1 効果的な普及啓発、献血者募集等の推進

県、市町村、日赤県支部及び日赤血液センターは、より多くの県民の献血への参加を促進するため、広報活動、各種イベント又は街頭キャンペーン等による献血推進活動を行う。

(1) 広報活動

- ・ 県、市町村及び日赤血液センターは、新興・再興感染症のまん延下であっても、医療に

欠くことのできない有限で貴重なものである血液製剤の安定供給を図るため、血液への理解を促すポスターの掲示や各種広報媒体の活用等により、献血の正しい知識や必要性について効果的な普及啓発に努める。

- ・ 県、市町村及び日赤血液センターは、採血基準について、県民に対して十分に広報を行う。また、血液製剤の中でも特に血漿分画製剤は近年需要が増大しており、その安定供給が確保されるよう、献血への協力を求めるなど献血者の確保に努める。
- ・ 県は、県民に対して血液の働きや医療への使われ方等、命を救う献血の必要性について説明を行い、正しい知識の普及啓発に努める。
- ・ 日赤血液センターは、小学校、中学校、高等学校及び大学等で、児童及び生徒を対象とした「献血セミナー」を実施し、献血の意義を理解し、将来献血を行ってもらうため、効果的な広報に努める。
- ・ 県及び市町村は、若年者層の献血への関心を高めるため、日赤血液センターが実施する「献血セミナー」を、積極的に活用してもらえよう小学校、中学校、高等学校及び大学等に情報提供を行う。
- ・ 日赤血液センターは、「親子で血液センターのお仕事体験」等を実施して、子育て中の20歳代後半から30歳代を中心とした親子が、献血を模擬体験することで、献血に対する理解が深まるよう努める。

(2) 献血推進キャンペーン等の実施

- ・ 愛の血液助け合い運動

県及び日赤血液センターは、7月に全国一斉に展開される「愛の血液助け合い運動」の期間中、学生献血推進協議会等ボランティアの協力を得て、夏期の血液不足の解消及び献血の推進及び普及啓発に努める。

- ・ クリスマス献血キャンペーン

日赤血液センターは、学生献血推進協議会及びボランティア団体等が参加するクリスマス期間の献血を街頭で実施し、冬期の血液不足の解消と、若年層を始めとした献血の普及啓発に努める。

- ・ はたちの献血キャンペーン

県及び日赤血液センターは、1月及び2月に全国的に実施される「はたちの献血」キャンペーンにおいて、成人式を迎える「はたち」の若者を中心に、広く県民各層に献血に関する理解と協力を求め、特に冬期における献血者の確保に努める。

(3) 企業等における献血の推進対策

- ・ 日赤血液センターは、県及び市町村の協力を得て、献血に協賛する企業や団体を募り、その社会貢献活動の一つとして、企業等における献血の推進を促す。また、日赤血液センター等における献血推進活動の展開に際し、地域の実情に即した方法で企業等との連携を図り、企業等における献血の推進を図るための呼びかけを行う。
- ・ 県及び日赤血液センターは、企業等に対して、特に20～30歳代の労働者の献血促進について協力を求める。

(4) 地域献血（参集型事業所献血）の実施

- ・ 県、市町村及び日赤血液センターは、献血に協力する団体等と協力して、献血会場の周

辺の住民に対して積極的に協力を呼びかけ、地域一帯となって献血を推進する「地域献血」を実施する。

(5) 複数回献血者確保の推進

- ・ 日赤血液センターは、県及び市町村の協力を得て、複数回献血者の協力が十分に得られるよう体制を構築し、献血者の安定確保を図る。
- ・ 献血に継続的に協力が得られている複数回献血者の組織化及びサービスの向上を図り、その増加に取り組むとともに、献血の普及啓発活動に協力が得られるよう取り組む。

(6) 全血献血の在り方と高校献血の推進

- ・ 県、市町村及び日赤血液センターは、血液製剤の安全性、製造効率、医療機関の需要の観点から、献血を推進する上では、400ミリリットル献血を基本として行うものとする。
- ・ 県、日赤血液センターは、連携して、高等学校に対して献血への理解と協力を求める。
- ・ 将来の献血基盤の確保という観点から、若年層への献血推進は非常に重要であり、若年層に対し献血への意識付けを推進し、できる限り献血を経験してもらう。

2 献血推進体制

(1) 献血協力団体との連携

県、市町村及び日赤血液センターは、事業所、学校等の施設、商工会、青年会、婦人会、町内会等の地域組織、ライオンズクラブ、赤十字奉仕団及び秋田県学生献血推進協議会等ボランティア組織に献血運動への支援、協力を要請する。

(2) 関連分野との協力

県及び日赤血液センターは、教育機関と連携を図るとともに報道機関にも積極的な協力を呼びかける。

3 献血者への謝意

(1) 県知事表彰及び感謝状

県は、献血推進に功績のあった個人又は団体に知事表彰状若しくは知事感謝状を、献血回数100回に達した個人に知事感謝状を贈呈する。

(2) 日本赤十字社有功章

日赤血液センターは、献血推進に功績のあった個人又は団体に対し日本赤十字社有功章を贈呈する。

(3) 保健所長感謝状

県保健所は、献血回数が50回に達した個人に対し保健所長感謝状を贈呈する。

(4) 献血ポイント

日赤血液センターは、高等学校在学中に献血ポイントが5ポイントに達した高校生に対し、卒業時に感謝状及び記念品を贈る。

4 献血者の健康増進

日赤血液センターは、献血者が自己の健康管理に活用できるよう生化学的検査及び血球計数検査結果を通知し、献血不適格者には、健康増進に役立つよう健康アドバイス用のリーフレットを配付する。

5 献血者の安全の確保

日赤血液センターは、採血時の検診医師確保のため、医師会等関連団体に医師派遣の要請を行う。

また、新興・再興感染症のまん延下の状況であっても、安心して献血できる環境を保持するとともに、採血の度に、採血の手順や採血後に十分な休憩をとる必要性、気分が悪くなった場合の対処方法等について、事前説明を十分に行い、献血者の感染防止を始めとした安全確保に努める。

II 血液製剤の安全性の確保及び適正使用

第1 血液製剤の安全性の確保及び適正使用に関する基本的な考え方

1 血液製剤の安全性の確保

献血で得られた血液製剤は医薬品であり、その有効性及び安全性を確保するとともに、必要な情報を提供しなければならない。

2 血液製剤の適正使用

医療関係者は、血液製剤が人の血液に由来する有限で貴重なものであること及び原料に由来する感染のリスク等について特段の注意を払う必要があることを十分認識し、患者に真に必要な場合に限り血液製剤を使用するなど、適切かつ適正な使用を一層推進しなければならない。

第2 血液製剤の安全性の確保及び供給

1 日赤血液センターは、献血された血液について抗原・抗体検査及び核酸増幅検査等を実施するとともに、血液製剤の回収等が発生した場合は、血液製剤の病原微生物の感染リスク等に関する情報を的確に医療機関に伝達する。

2 日赤血液センターは、医療機関からの緊急要請時における供給体制の整備等を行い、血液製剤の効率的な供給を図る。

3 県及び日赤血液センターは、大規模地震等の災害発生時の血液製剤の大量かつ緊急供給に対処するため、情報システムの構築、他の都道府県への協力要請連絡体制、搬送システムの整備等について関係機関と協議し対策を講ずる。

第3 血液製剤の適正な使用について

医療関係者は、血液製剤の適正使用に努めるとともに、安全性情報の収集及び患者に対するインフォームドコンセントに努める。

1 血液製剤の適正使用の推進

(1) 血液製剤の使用適正化等に関する資料の配布

県及び日赤血液センターは、血液製剤の使用適正化等に関する資料を医療機関に配布し、その有効活用を促す。

(2) 秋田県合同輸血療法委員会等の開催

県は、「輸血療法の実施に関する指針」に基づき各病院に輸血療法委員会の設置を働きかけるとともに、医療関係者と協力して秋田県合同輸血療法委員会を開催し、血液製剤の使用

適正化及び輸血療法の適正化の推進を図る。

(3) 血液製剤の保管管理等に関する実地指導

県及び秋田市は、「血液製剤保管管理マニュアル」に基づき、血液製剤を取り扱う病院等に対し、立入検査等により血液製剤の保管管理及び取扱いを調査し、必要な指導を行う。

(4) 血液製剤の記録、感染症報告等

医療機関は、特定生物由来製品である血液製剤の使用にあたり、患者への適切な説明、使用記録の作成・保管及び輸血前後の感染検査を適切に実施するとともに、感染が明らかになった場合には速やかに厚生労働大臣に報告しなければならない。

2 各機関の役割

「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」の規定に基づき県、市町村及び日赤血液センターの担うべき役割は、別紙「令和6年度血液事業実施事項」のとおりとする。

参考資料

令和6年度献血バス目標数（案）

採血種類	目標数	前年度比較	R5年度
200mL	428	-95	523
400mL	17,848	89	17,759
合計	18,276	-6	18,282

（参考）令和6年度固定施設成分献血目標

血漿	血小板	計
7,070	4,331	11,401

令和6年度固定施設目標数（案）

採血種類	目標数	前年度比較	R5年度
200mL	133	-27	160
400mL	5,457	47	5,410
合計	5,590	20	5,570

令和6年度秋田県献血目標数（案）

採血種類	目標数	前年度比較	R5年度
200mL	561	-122	683
400mL	23,305	136	23,169
合計	23,866	14	23,852

保健所別生産年齢層間人口（令和2年度国勢調査）

保健所	生産年齢層間人口	人口割合
大館保健所	61,477	10.5%
北秋田保健所	17,807	3.1%
能代保健所	42,727	7.3%
秋田中央保健所	38,958	6.7%
由利本荘保健所	58,582	10.1%
大仙保健所	68,537	11.8%
横手保健所	53,417	9.2%
湯沢保健所	34,149	5.9%
秋田市保健所	207,235	35.6%
合計	582,889	100.0%



献血目標 (秋田県献血目標×人口割合)	固定施設目標	保健所別 固定施設調整数	献血目標 (試算値)	R6年度 稼働数 (試算値)
2,458		58	2,400	57
712		46	666	16
1,708		168	1,540	37
1,558		462	1,096	26
2,342		470	1,872	45
2,740		358	2,382	57
2,136		152	1,984	47
1,365		80	1,285	31
8,286	1,794	-	4,623	110
23,305	1,794	1,794	17,848	426

人口割合 (調整後)	目標対 献血率
10.1%	3.9%
2.8%	3.7%
6.5%	3.6%
4.6%	2.8%
7.8%	3.2%
10.0%	3.5%
8.3%	3.7%
5.4%	3.8%
19.4%	10.4%
74.8%	6.0%

R4年度 稼働数	R5年度 稼働数	R6年度 稼働数 (案)	前年度 稼働数 (差 引)
59	58	58	0
19	18	18	0
38	37	37	0
26	25	25	0
45	44	44	0
60	59	58	-1
50	49	49	0
34	33	33	0
110	104	104	0
441	427	426	-1

令和6年度 献血目標 (400mL献血)	
2430.2	2,430
754.2	754
1550.3	1,550
1047.5	1,047
1843.6	1,844
2430.2	2,430
2053.1	2,053
1382.7	1,383
4357.6	4,357
17849.4	17,848

426

※秋田市献血率は固定施設献血目標を含む

(注) 秋田市保健所は試算値とする

献血目標（試算値）、R6年度稼働数（試算値）は合計から県保健所分を差し引いた数

算出方法

前提：各県の献血目標算出の際、東北ブロック血液センターにおいて献血可能人口を採用したが、秋田県では市町村別献血可能人口での算出は困難であることから、例年通り生産年齢層間人口により算出した。

- ①秋田県献血目標から生産年齢層間人口より献血目標人数を算出する。
- ②算出した秋田市保健所献血目標から固定施設全血献血目標を差し引く。
- ③算出した献血目標から保健所別固定施設協力者を差し引く。
- ④保健所別固定施設協力者数を秋田市に加算する。
- ⑤献血目標は1稼働400mL献血を41.9人とし算出する。
- ⑥200mL献血目標数は県目標428人とする。

- ・稼働数（調整値）については、県医務薬事課との調整により配分。
- ・大幅な増減による影響抑えるため、稼働数を段階的に調整する。